

PARIS

10月に入り本格的に授業が始まりました。授業が毎日ある生活は久しぶりな気がします。課題や作業で大学で過ごす時間が長くなっています。

先日、ダウンコートと箸が実家から届きました。Operaの方に日本食スーパーがあり週2くらいでうどんを食べていますが、送ってもらった箸で食べるうどんは格別でした。冬をサバイブできそうです。



勉学の状況

1 授業 4 時間あるため時間割はシンプルです。週 1 の授業を 3 つと、週 3 回授業のある Atelier を受講しています。どのクラスも学生は 20 人以下で、先生や学生と頻繁にコミュニケーションを取る事が出来ます。

	Lundi	Mardi	Mercredi	Jeudi	Vendredi
9:00	Volume		Studio		Atelier
13:00					
14:00		Atelier	Urban Politics	Atelier	Atelier
18:00					

Atelier_ Ville de Paris

9 つある Atelier の中から「Le Jardin du Luxembourg に建てる仮設幼稚園をデザインする」コースを選択しました。今月は調査を主に行い、市内の幼稚園を 2 箇所訪れました。8 時から 17 時まで幼稚園にお邪魔し、園での一日の動きや園児たちの遊びの様子、先生が抱える問題などを調査しました。

現在は調査をもとに、各々、提案の方向性を定めているところです。私は幼稚園での空間の使い方に焦点を当てています。提案内容に制限はなく、学生自身で自由に作業を進めていい点が面白いです。ついつい自分の提案にだけ集中してしまいがちですが、周りはお互いに意見を言い合い高め合っている印象です。私も語学力に臆することなく積極的にコミュニケーションを取っていこうと思います。



訪問した 0 歳~3 歳の子が通う幼稚園の園庭と ENSCI の学生

Studio_ Art plastiques

表現力や手法を学ぶStudioでは「Art plastiques」を受講しています。「動物性を表現する」というテーマが難しく何を制作すればいいか長い時間悩みました。この授業もテーマをどう解釈するかは自由で、毎週制作物に対し先生が親身に相談に乗ってくれます。今回は動物や昆虫の持つ色覚を自分の題材にしました。ただ写真やその編集の技術に乏しく苦戦中です。動物園や博物館に行くなど、とにかく行動を起こしてこの状況を抜け出したいです。

Weekly class_ Urban politicss

この授業では毎回4時間、パリの郊外をサイクリングで走り回っています。訪れる先も観光地ではなく、移民が占拠しているビルやキャンプ、1930年代の集合住宅、そこに住む人々の話など、この授業を取らなければ知り得なかったことばかりで、非常に興味深いです。毎週、その日の道のりと「見た・聞いた・嗅いだもの」をまとめるのですが、その際「携帯のマップや写真を使うな」と注意されました。通った道を覚えること、それを紙の地図で再現すること、この作業を随分久しぶりにしています。スマホが勝手に記録してくれる有難さと、自分で、ものや時間の「つながり」を作る大変さを身に染みて感じています。



Urban politics の1授業分のレポートの一部

Weekly class_ Volume

Intensif workshop での「Volume et Colour」に引き続き、同じ先生の「Volume」の授業を受けています。2回目の授業で自分の制作物をプレゼンする機会がありました。その後、授業でしたい事を尋ねられ、私がこれからする事は、私が過去にしてきた事の中にヒントが隠れていると気づかされました。この授業でも与えられるのはテーマだけで、後は自分の掘り下げ方次第です。先が読めない状態で手を動かすことが苦手ですが克服したいと思います。

生活の状況

シェアサイクル 盗られました



緑の自転車がvelib. 学生だと4時間乗っても3ユーロほどで経済的

Urban Politics の初回の授業で、訪問先にて駐輪したシェアサイクル「velib」を盗られてしまいました。この時、ステーションではない私有地に停めたのですが、自転車のロックの仕方を知らず戻ってきたときには私の自転車だけ無くなっており、若干パニックになりました。その場でサービスセンターに連絡し（友人にフランス語で連絡してもらい）罰金にはならず済みました。警察に届け出るための事情聴取の予約も、翌日クラスメイトに手伝ってもらいました。届出に予約が必要なのは驚きましたが、そのおかげで警察署では簡単に事情を説明し、書類を埋める手続きだけとスムーズでした。

クラスメイトのおかげで大事には至りませんでした。自分の知識、認識不足が招いた事態だと反省しています。また、パリでは不正に使われているシェアサイクルも多く、公共物の管理の課題を目の当たりにしました。

OFII の手続きで電子スタンプを購入しましたが その場で使えないことがわかりました

フランスに滞在する学生は移民局 (OFII) にて滞在許可証を発行してもらう必要があります。8月に提出した書類が受理され、10月中旬に召喚がありました。受理に、収入印紙 (timbre fiscal) というものが必要でタバコ屋に向かったのですが、そこで電子式の収入印紙 (QRコード付) を購入してしまいました。しかし当日、手続きの際「これは使えない」と言われ、急ぎ近くのタバコ屋で再度切手サイズの収入印紙を購入し滞在許可証ました。どうやら電子収入印紙は最新式らしく行政機関が対応できていないようです。現在、返金手続き中ですが、こちらで銀行口座を作っていない私には中々難しいものです。フランスではこのような手続きに長い時間要するそうなので、気長に待とうと思います。

週末は郊外に出かけています

パリから電車で1時間、Provins という町に行ってきました。パリと比べて物価も安く、15ユーロで食べきれないほどのチーズとポテトをいただきました。午後、この町特有の文化である地下道を見学しました。各家が地下に洞窟のようなもの倉庫を持っており、多く枝分かれした複雑な内部は、神秘的で、深い闇に怖さも感じました。華美な作りではありませんでしたが、地下空間での住人の生活を想像する事ができ、興味深かったです。(01の写真)

Provins の古城からの眺め
歴史ある宿場町で中世の頃はフランスで3番目の大きさの街だったそう

